

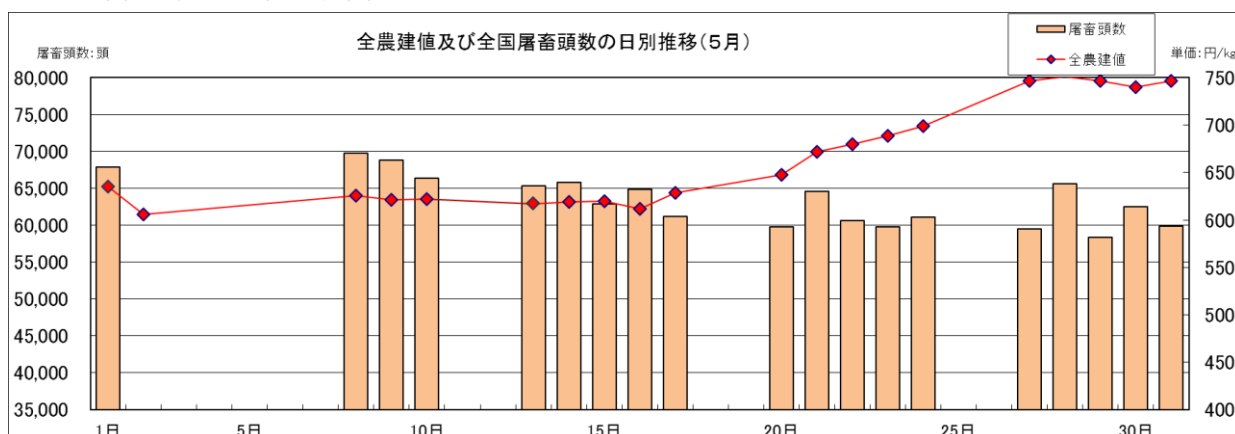
肉豚インフォメーション (5 月)

●5 月の動向

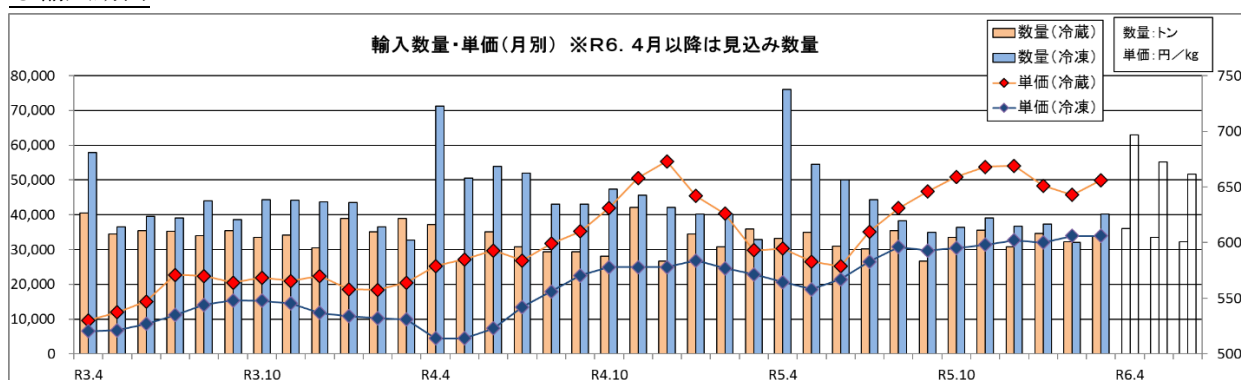
2024 年 5 月 (税抜)	2023 年 5 月 (税抜)
666 円/kg (64 円高)	602 円/kg

※全農建値

5 月は、屠畜頭数が少なく、また需要の逼迫により、建値が最高 751 円 (税抜) まで上がり、近年例を見ない相場展開となった。

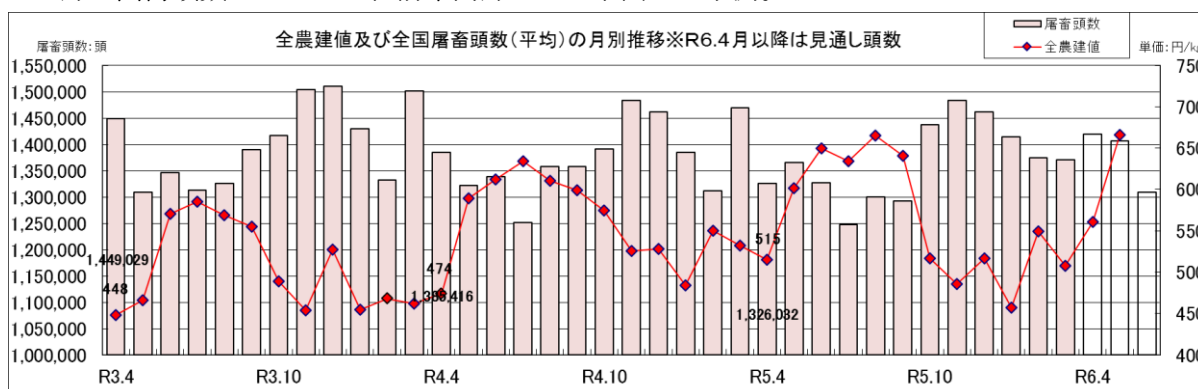


●輸入動向



●6 月の動向

6 月の出荷頭数については、前年同月をやや下回ると予測。



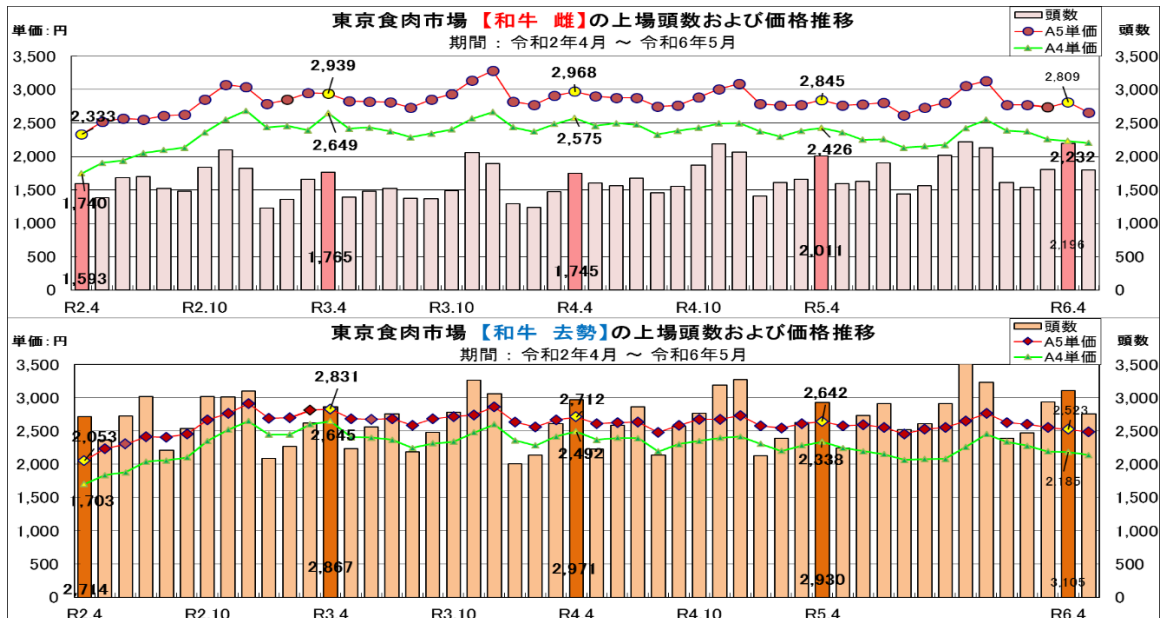
6 月の相場については、堅調に推移すると予想される。

全農建値 (税抜) 予測レンジは 650 円～750 円とする。

肉牛インフォメーション (5月)

●5月の動向

GW 前後も和牛の相場は伸びず低調であった。特に和牛は、同じ等級内でも、モノの良し悪しによって価格差が顕著に表れた。交雑牛は和牛の代替え需要が継続し、全体的に引き合いが強まった。



●6月の動向予測

梅雨の時期に差しかかるため消費は低迷することが予測される。需要は5月から停滞しており、和牛の引き合いは継続して弱いことが見込まれる。輸入牛の高値はしばらく続く見込みのため、交雑牛などは5月並みの高値相場が予測される。

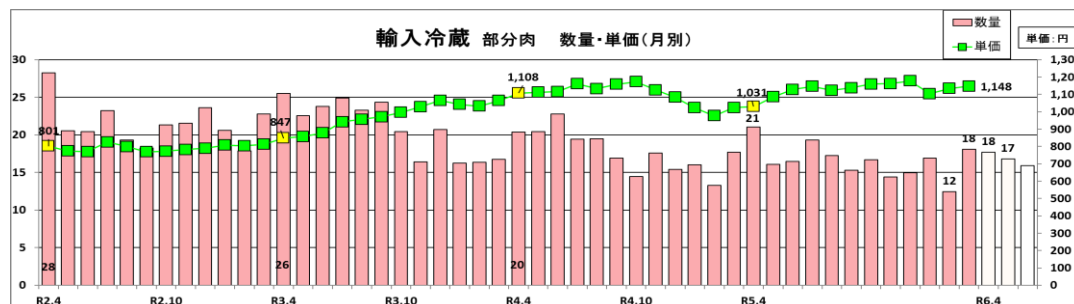
6月相場は「弱もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,450 円 (税込み) A4 等級 2,200 円 (税込み)

交雑去勢 B4 等級 1,650 円 (税込み) B3 等級 1,500 円 (税込み)

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国産需要が低迷する中、5月は、現地相場の高騰等による米国産輸入量の減少が見込まれる一方、前年同月の豪州産輸入量が少なかったこと等から、前年同月をやや上回ると予測する。6月は、現地相場の高騰等による米国産輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をやや下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。(ALIC 牛肉の需要予測について 5月29日)



食肉インフォメーション (5 月)

● 5 月の動向

○牛肉

GW及び5月中は夏日になる日もあり、外出に恵まれた天候の日が多かったため外食は伸びた。一方で内食需要については消費者の節約志向の高まりから厳しい状況となった。仲卸での原料流通は、和牛から交雑・乳用牛へシフトし、小売でもスソ物や切り落としなど低価格の商品中心での展開となった。

○豚肉

コロナ5類移行後初めてのGWを迎え、インバウンド効果により外食は一定の需要があったものの、消費者の節約志向は強く、内食需要については伸びが見られなかった。

豚枝肉価格は、出荷頭数減や豚熱発生の影響もあり、近年では例にない高値相場となり、ロース・肩ロース・バラ（中部位）等の荷動きは鈍く、安価なウデ・モモ・ひき材の動きが活発であった。

● 6 月の動向予測

○牛肉

6月は梅雨入りで需要が低迷し、父の日以降の販促イベントもないため厳しい需要展開が予想される。また相次ぐ食品の値上げや電気料金などの負担増により、消費者の生活防衛意識は更に強まり、需要は牛肉から豚肉・鶏肉へのシフトが加速していくと思われる。

○豚肉

消費者の節約志向に加え6月は販促イベントも少ないことから、スソもの中心の展開となり、5月の消費動向が継続すると予想される。枝肉相場の動向に加え、需要と供給の部位バランスの崩れが心配され、仲卸・小売店での在庫過多部位販売に工夫が必要となる。

● 業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年4月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度4月	12,906	14,916	7,309	28,603	14,386	9,468	7,890	95,478
令和5年度4月	13,129	13,979	5,267	28,162	18,437	8,484	6,206	93,664
令和6年度4月	13,170	13,995	4,267	27,247	19,259	10,303	5,907	94,148
増減 (R5-R6)	41	16	-1,000	-915	822	1819	-299	484
対比 (R4/R6)	102%	94%	58%	95%	134%	109%	75%	99%
対比 (R5/R6)	100%	100%	81%	97%	104%	121%	95%	101%